

2 選択研修 (5)人材育成支援コース

～ ジェネレーションギャップに戸惑う方へ！ ～

若手職員育て方講座

【事例検討&実践型】部下とどう付き合っていけばいいかのヒントが得られます！

到達目標	部下の能力開発を支援するための効果的な指導方法を学び、よりよい指導・育成ができるようになる。
講座のポイント	明日から使える「指導の技法」を、事例検討&実践を中心に学びます。 若手職員(概ね新卒～5年)育成の必要性は、ますます高まっています。 この講座では、自らの役割を知り、部下の成長を促す指導方法を学ぶとともに、自分の指導スタイルを見直し、部下への適切な接し方を学びます。 職場で起きている実際の事例を基に、どのようにアプローチをすれば良いかを具体的に学びます。

日時 【東部】 10月 6日(火) 8:55～16:40
【西部】 10月21日(水) 8:55～16:40

会場 【東部】 自治研修所(松江市) [定員:100名]
【西部】 浜田教育センター(浜田市) [定員: 50名]

対象 一般申込枠・・・全職員(会計年度任用職員含む。)
必修選択枠・・・〈県〉主任後期
〈市町村〉中堅職員／管理監督第I

講師

たけだ ゆりこ
武田 由利子

(一社) 日本経営協会
講師



午前		午後	
8:55	(開講オリエンテーション)		
9:00	○オリエンテーション ○若手職員に求められる能力・意識・行動の明確化 ○「なぜ、しない？できない？」事例検討 ○何を育てるのか ～社会人基礎力～	13:00	○アドバイス・指導方法 ○改善のフィードバックスキル ○相談しやすい雰囲気づくり
12:00	休憩	16:40	(閉講)

受講者の声	備考
<ul style="list-style-type: none">● 声のかけ方、物事の捉え方、細かい伝え方など、あらためて育てる大切さを学べた。● 「フォーカスする視点を変える」等、感情を排して、技術に落とし込まれていて、分かりやすく学びを深めることで「できる」気持ちになった。● 部下に限らず上司・同僚とのコミュニケーションをとるとき、ソーシャルスタイルの傾向からアプローチを変えるとという視点は印象的だった。	※本講座は、令和元年度～令和5年度の期間、人事課主催(県)の研修として実施していました。 内容が重複する可能性がありますので、受講申込にあたってはご注意ください。

年齢が離れた部下への対応に悩み、苦慮している方にお勧めです！